

恵庭市立島松小学校

【生活、総合的な学習の時間】

■ 地域の人的・物的資源を活用した自然体験活動

★活動に関連する目指す子ども像

「様々な経験を活かして新たなことにも挑もうとする子ども」
「健康・安全に対する正しい判断と行動ができる子ども」

□ 活動の概要



身近な自然に関心を持ち、豊かな自然を守っている人たちとの関わりを通して、自然を守ろうとする心や態度を育てること、命や安全を守る判断力を高めることをねらいとして、第1・2学年の生活科及び第4学年の総合的な学習の時間に、近隣を流れる柏木川に関する自然体験活動「川の学習」を行っています。

□ 活動の具体

- ・網で川の水生物を探す「柏木川に棲む生物調べ」、水面に体を浮かせる「川流れ体験」、牛乳パックで作ったいかだによる川流れなどの体験活動を行っています。
- ・地域住民を母体として活動している「柏木川プロジェクト」のメンバーに講師を依頼し、事前に活動内容や学習の流れ、安全面への配慮などについて打合せを行い、体験活動を実施しています。

□ 教育課程上の工夫

- ・本校のふるさと教育を系統的に推進し、児童が身近な自然のよさに気付くよう、川を観察したり、川を利用して遊んだりする活動を第1・2学年の生活科に位置付けるなど、指導計画を工夫しています。
- ・総合的な学習の時間に、「柏木川プロジェクト」と連携した自然体験活動を位置付け、身近な自然について課題を見だし、探究的な学習を通して、学習のまとめと成果を発表・交流するなど、川の学習と関連を図った年間指導計画を立てています。